

Q: 創世記 2 章 23 節(新共同訳)のカタカナ書き補足について(自問自答)

A: 当該聖書箇所は次の通りです。

人は言った。「ついに、これこそ わたしの骨の骨 わたしの肉の肉。これをこそ、女 (イシャー) と呼ぼう まさに、男 (イシュ) から取られたものだから。」

大変親切な訳でヘブライ語テキストの読みを引用することにより、漢字の「男」と「女」の意味上のつながりを明確にしています。

ヘブライ語 男 イーシュ אִישׁ

ヘブライ語 女 イッシャー אִשָּׁה

日本語訳では、これまで、口語訳、新改訳、文語訳聖書ともこの補足がなかったため、上述、漢字の「男」と「女」の意味上のつながりが極めてわかりづらいものでした。 その意味で新共同訳は大変親切な訳だと考えます。

ついでながら、英語の場合も 男が man 女が woman で綴り字からも、両社の関連性が伺えます。 さらに、研究社の英和大辞典では woman に関し、以下のようにその成り立ちを説明しています。

(注 : OE は Old English(古代英語) “female” は「女性」)

【OE wimman, wifmann ~ wif ‘female, WIFE’+mann ‘person, MAN’: 複数形の発音 /wɪ-/ は規則的発達を示しているが、単数形の発音 /wU-/ は語頭音 /w/ の影響により円唇化したもの】